

融合

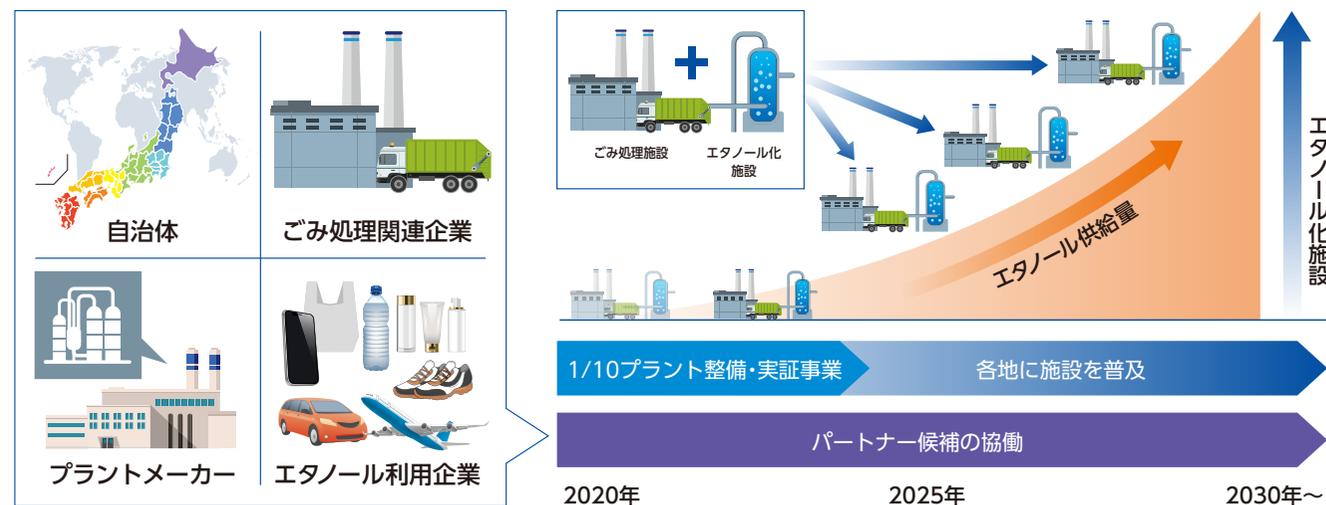
積水化学グループは技術プラットフォームをベースとして、社内外のさまざまなステークホルダーや企業と融合し、イノベーションを加速していきます。

これまで、さまざまな取り組みを技術、事業機会、経営資源の融合によって加速し、新製品・新事業の創出や新分野・新エリア・新用途の開拓、そして収益力強化に向けた事業構造改革などを推進してきました。前中期経営計画(2017-2019年度)では、融合による売上高増分と新事業創出の加速を掲げ、売上高は2016年度比で約400億円の増分を、新事業創出ではまちづくり事業の本格化と、ごみをエタノールに変換する技術(バイオリファイナリー)の実証を次のフェーズに進めることができました。

2020年8月には、高性能プラスチックカンパニーにおいて、同カンパニーの主要開発拠点である開発研究所内に、水無瀬イノベーションセンター(MIC)を併設しました。通信業界における5Gの普及や、自動車業界の自動運転を含むCASEの進展など(P25参照)、通信や自動車業界の変容に伴い重要となる、各分野を横断した人や情報の融合とイノベーションのさらなる加速をねらいます。

今後も、社内外との融合をさらに加速させ、オープンイノベーションを推進することで、社会課題の解決に寄与する革新的な製品、事業の創出と普及に努め、社会課題解決への貢献および業容の拡大を目指します。

想定するバイオリファイナリー(BR)エタノール技術の事業化および事業展開のスケジュール



水無瀬イノベーションセンター(MIC)の外観と内観

